

報告事項ヒ

「グローバル・リーダー育成事業」における令和元年度の顕著な成果について

「グローバル・リーダー育成事業」における令和元年度の顕著な成果について、  
別紙のとおり報告します。

令和2年3月20日

鳥取県教育委員会教育長 山 本 仁 志

## 「グローバル・リーダー育成事業」における令和元年度の顕著な成果について

令和2年3月20日  
高等学校課

国事業（スーパーグローバルハイスクール：SGH）を活用した「グローバル・リーダー育成事業」の指定を受け、グローバルな社会課題を発見・解決し、様々な国際舞台で活躍できる人材の育成を目指している鳥取西高校において、教科横断的及び協同的・探究的な学びや課題研究等を生かしてグローバルな舞台に果敢にチャレンジする生徒が増え、日本代表として世界大会に出場したり全国大会でグランプリ受賞したりするなど、顕著な成果を収めつつあります。

### 1 成果概要について

#### (1) 平成30年度鳥取県理数課題研究等発表会優秀者海外派遣

- ア 派遣者 鳥取西高校 小野 俊祐さん（3年生）、矢野 叡さん（3年生）
- イ 派遣先 米国バーモント州（鳥取県姉妹提携先）
- ウ 派遣概要 現地研究施設や環境関連施設等を訪問し、最先端の技術や世界の動向、現地の施策などについて学ぶだけでなく、現地で調査活動を行い、派遣生徒が取り組んでいる課題研究を充実させた。あわせて、現地の高校を訪問し、授業参加や研究発表、意見交換等をおして交流するとともに、ホームステイ体験をおして異文化理解を実践的に深めた。

#### (2) 第30回国際生物学オリンピック銀賞受賞（鳥取県高校生初出場、日本代表中トップ成績）

- ア 出場者 鳥取西高校 小野 俊祐さん（3年生）
- イ 派遣先 ハンガリー（セゲド）
- ウ 概要 国際生物学オリンピックは、生物学に関心を持つ高校生等を対象にしたコンテストで、第30回大会には世界72カ国・地域から285名が参加。（日本からは、全国4,189名から選出された4名が参加）大会テーマであるバイオインフォマティクス（生命情報科学）についての理論や実技試験の合計点で競い合った。

#### (3) 平成30年度「グローバルリーダーズキャンパス」最優秀受講者スタンフォード大学特別表彰

- ア 表彰者 鳥取西高校 小谷 侑愛さん（2年生）
- イ 表彰会場 米国スタンフォード大学
- ウ 概要 同プログラム平成30年度最優秀受講者2名がスタンフォード大学に招かれ、SPICE（スタンフォード大学国際異文化理解教育プログラム）の主催による表彰式で特別表彰。受講者は、同プログラムで学んだことや今後の抱負・決意等について英語で15分程度のプレゼンテーションを行った後、その内容等に係る質疑応答に臨んだ。

#### (4) 全国高等学校グローバル観光コンテスト2019（観光甲子園）海外部門決勝大会グランプリ受賞

- ア 受賞者 鳥取西高校 木村 理瑞さん（2年生）、村岡 優菜さん（2年生）
- イ 大会会場 神戸ポートオアシス
- ウ 大会概要 海外部門テーマは「知的冒険の島・ハワイ島で次世代観光の可能性を探れ」。予選を通過した5組10名の高校生が、ハワイを舞台に環境産業が抱える課題の解決策を探るとともに、ハワイ島の魅力を高校生視点で考え、ハワイ島での現地取材を踏まえたドキュメンタリー動画を制作し、プレゼンテーションを行うことで、ハワイ島旅行企画を競った。

## 2 成果の背景について

### ○教科横断的及び協同的な学びの定着

鳥取西高校では、各教科で、教科横断的及び協同的な学びを取り入れた授業を實踐中。問題解決に向けて相互に意見を交わして思考を深める過程で、一つひとつの知識が結びついて新しい知識が生まれ、生徒はその経験を組み合わせながら確かな知識運用力を習得し、意欲的、主体的に学んでいる。

### ○事業の中核となる課題研究「思索と表現」をととした探究的な学びの深化と発展

総合的な学習の時間に行っている「思索と表現」では、2、3年生が学年の枠を超えて縦割りグループを編成する等の工夫を凝らし、全生徒が、幅広い分野を対象に課題研究に取り組んでおり、その内容や成果発表レベルも年々向上している。自らの判断で、近隣小学校や病院施設等に出かけ、研究成果を還元して地域に貢献しようとする生徒も出てきた。より高次の活躍の場を求めて全国レベルの大会等にエントリーする生徒も大幅に増加。SGH 事業をとおして、生徒は、知的探究心、実践力、行動力を高めている。

### ○海外体験・海外留学及び海外交流事業に参加する生徒数の増加

鳥取西高校が企画する海外研修や海外交流事業の他、県教育委員会が主催する海外体験・海外留学事業や民間業者斡旋による海外短期留学等に参加する生徒が、年々増加している。生徒の実践的な英語力も順調に伸びてきており、特に「話す」「書く」を中心とした発信力の伸びが顕著である。

## 3 事業成果の全県普及について

- ・令和元年度末の国事業の終了を受け、鳥取西高校でのカリキュラム開発及び実践研究成果を全県に普及する施策を講じる。
- ・グローバルリーダーに必要な資質・能力を段階的に育むことを目標に鳥取西高校が作成した「探究学習マニュアル」を、同校が今後主催する研究大会や県外の研究大会において活用しながら講演やワークショップを行う等の普及活動を行い、その手法について広く情報共有する。
- ・他県 SGH 指定校及びスーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業指定校と連携して、課題研究や探究学習の成果等についての合同生徒発表会等を県内で開催し、生徒が、学校や地域の枠を超えて直接的刺激を受け、さらなる学習の動機づけに繋げられるような場を設ける。



▲理数課題研究等発表会優秀者海外派遣  
教育長表敬訪問



▲第 30 回国際生物学オリンピック  
銀賞受賞 (写真右端が小野さん)



▲平成 30 年度グローバルリーダーズ  
キャンパス最優秀受講者表彰  
(写真右側が小谷さん)



▲観光甲子園決勝会場にて



▲観光甲子園グランプリ受賞報告  
教育長表敬訪問